

1	1
学 図	小 国 1 1 5



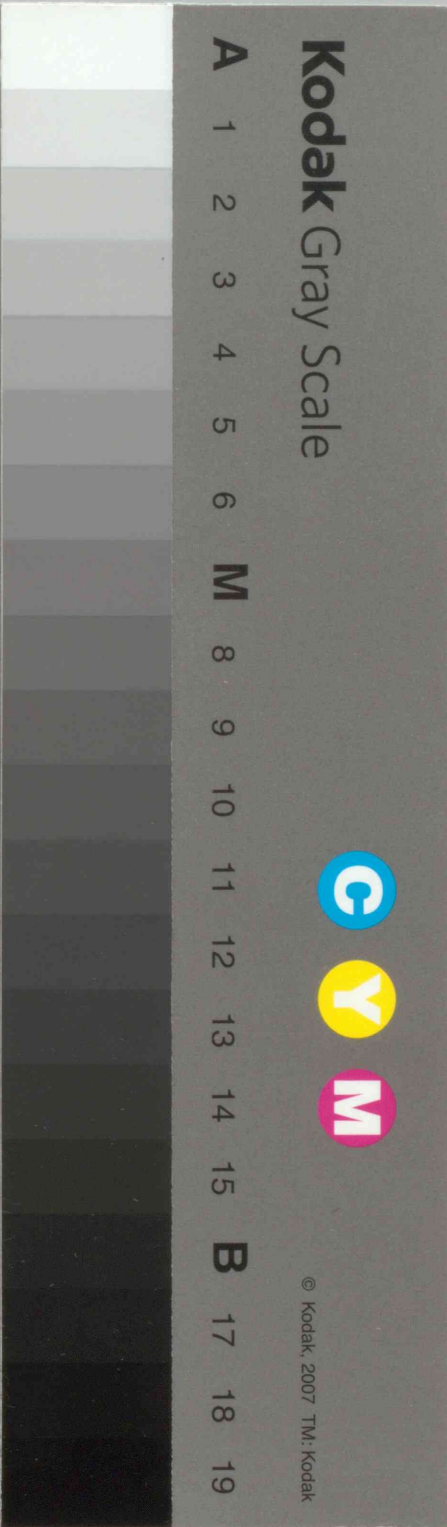
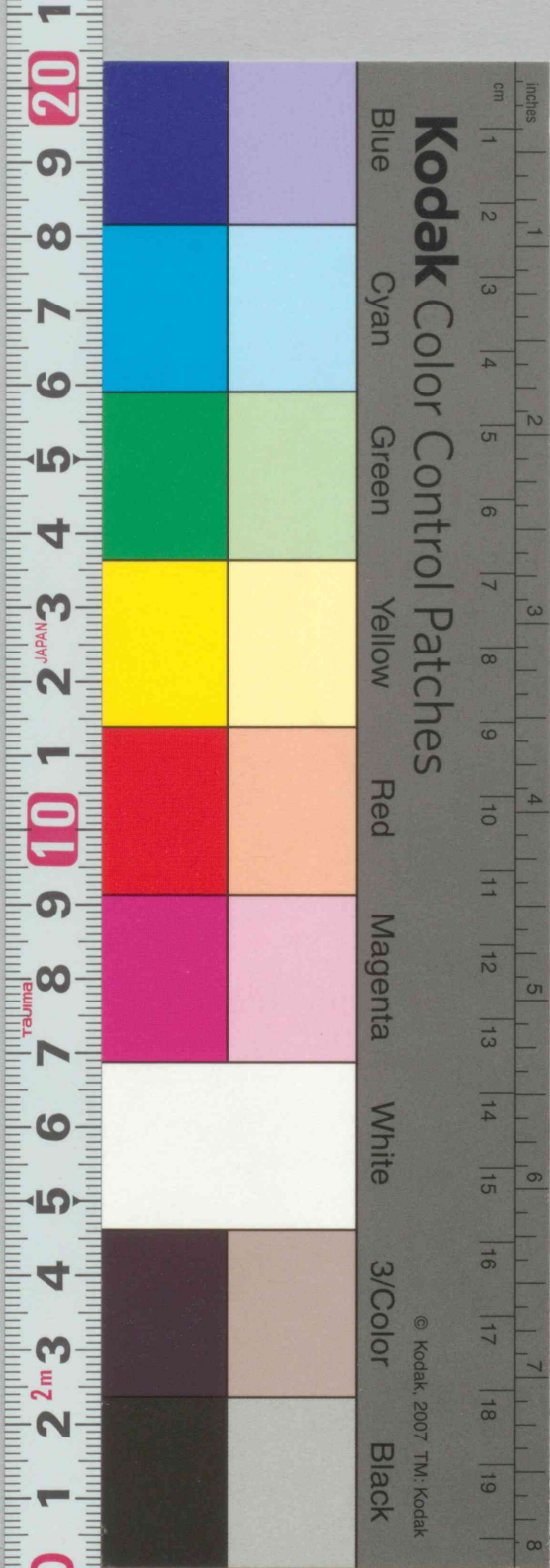
教科書文庫
6
810
34-1949
0130449926

法財 文
人団 部
日 本 省
新 教 育 検
教 育 研 定
究 会 濟
編 修 教
科 書



11-KC
G16

学校図書株式会社発行



60332
教科書文庫

6
810
34-1949
01304 / 49926

329
1991



中央図書館

贈 昭和二十四年十月十日 文部省検定済小学校国語科用

教科書文庫
6
810
34-1949
0130449926

こ
く
ご

二

第一学年用下巻

学校図書株式会社



広島大学
教育学部図書

広島大学図書

0130449926



広島大学図書

0130449926





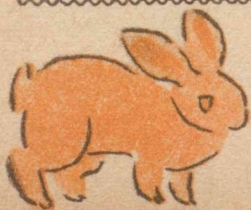
もくろく

- (一) はじめのことば
- (二) こどもかいのうた
- (三) もちつき
- (四) おにごっこ
- (五) かんがえもの
- (六) なぞなぞ

57 56 55 54 53 53 52 51 46 44 43 42

- 六、はるがくる
- (一) おしくらあそび
- (二) はるがくる
- (三) はるのゆき
- (四) はる
- (五) うぐいすの子

69 68 65 62 61 60 59 58 58

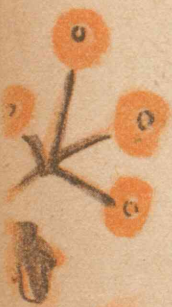


- 一、うんどうかい
- (一) うんどうかいのゆめ
- (二) うさぎとび
- (三) だるまおし
- (四) かけっこ
- (五) おもしろかった
- (六) えにつき

20 18 17 15 12 10 8 6 5 4

- 三、どうぶつえんごっこ
- (一) 子うさぎ
- (二) みんなおいで
- (三) くまのめん
- (四) あら あら
- (五) どうぶつえんごっこ

41 38 37 36 34 31 30 28 26 22



(一) うんどうかいの
 ゆめ
 あしたは
 うんどうかい。
 うれしい
 うれしい。
 うれしい
 ゆめ。



一、うんどうかい

十一月三日(水)
 ごぜん九じから



(二) うさぎとび

ぴよん ぴよこ
ぴよん ぴよこ、

うさぎとび。

あか かくて、
しろ かくて、

ぴよん ぴよこ

ぴよん。

ぴよん ぴよこ
ぴよこりと、

ころんで おきた。

もう すぐ
はただよ、

ぴよん ぴよこ
ぴよん。

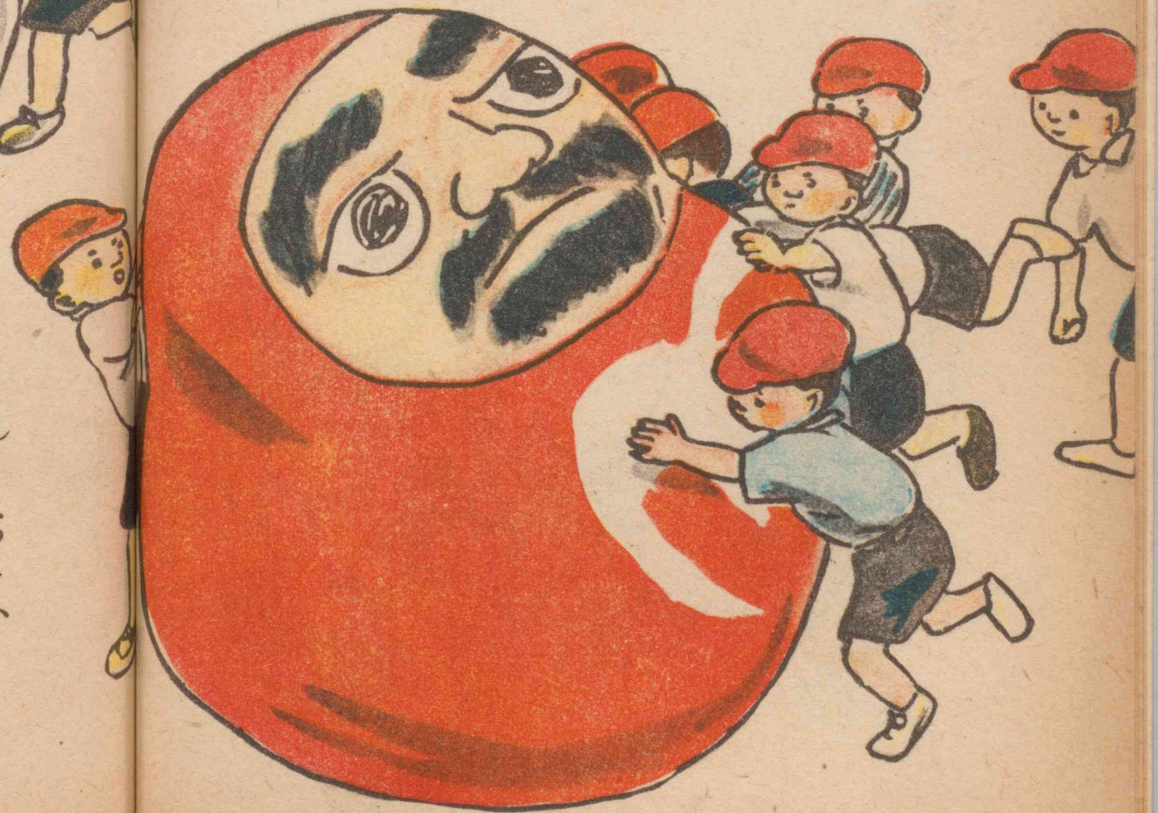




(三) だるまおし

ごらん。
ごらん。

あかい だるまの
かおを ごらん。
しろい だるまの、
かおを ごらん。



それ おせ、
それ おせ、
しろ かくて、
それ おせ、
それ おせ、
わっしょい。
あか かくて。
よいしょ。
よいしょ。

(四) かけっこ

かけっこだ。

かけっこだ。

ようい

どん。

わっ わっ

わあっ。

がんばれ、がんばれ。



あか しろ、

しろ、あか。

それ、

それ、

がんばれ。

としおさん

一とう。





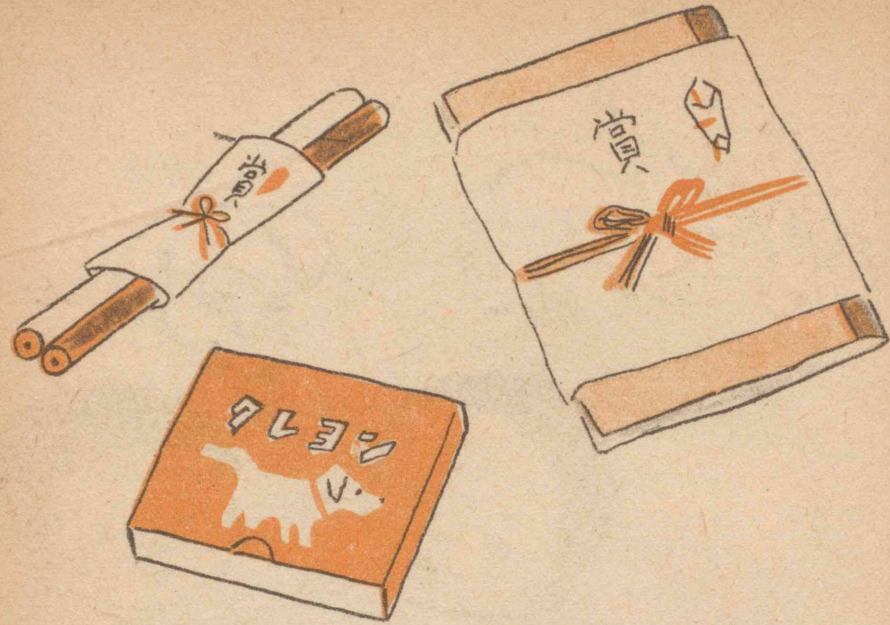
(五) おもしろかった

「おかあさん、

おおきな だるまが、おこったよ
うな かおを して、ごろ ごろ
ころがるのが、おもしろかったで
すね、おかあさん。」

「おとうさん、

うさぎとびは おもしろかった
でしょう。
りょうてを くるくる まわして
とんだのを みましたか。
ころんだ うさぎも ありました
ね。」



きょうの うんどうかいは、
 うれしい ことばかりでした。
 うさぎとびも、かけっこも、
 どうでした。
 は と、 と、
 でした。 は、よし
 こに やりました。

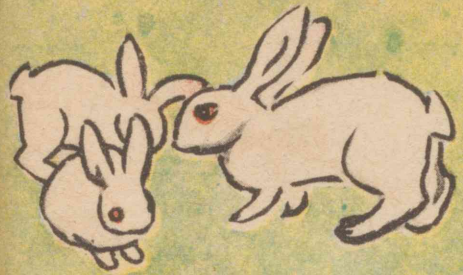


「おじさん
 わたしは、いっしょうけんめいに
 かけたら 一とうに なりました
 よ。
 しろも いっしょに かけたそう
 ですよ。
 かわいい しろですね。」

(六) えにつき



おじさんの
うち



おじさんが、
「きょうは、よくがんばった
から、こうさぎを、
あげよう。
こんどの
んのうちへおいで。」
とおっしゃいました。
よしこも、しろも、いつしよ
にいくことにしました。



に、おじさ



に

(一) はしの 上から

「おうい、しげるさあん。」

「おうい。」

「なに してるの。」

「いなごを とってるんだよう。」

「とれたかい。」

「とれたよう。おもしろいから、

としおさんも おいでよ。」

「きようは、だめ だめ。」

「どこへ いくの。」

「おじさんの うちへ、

あそびに いくんだよう。」

「そうか、いいなあ。」

「いつて きまあす。」

「いつてらっしやあい。」

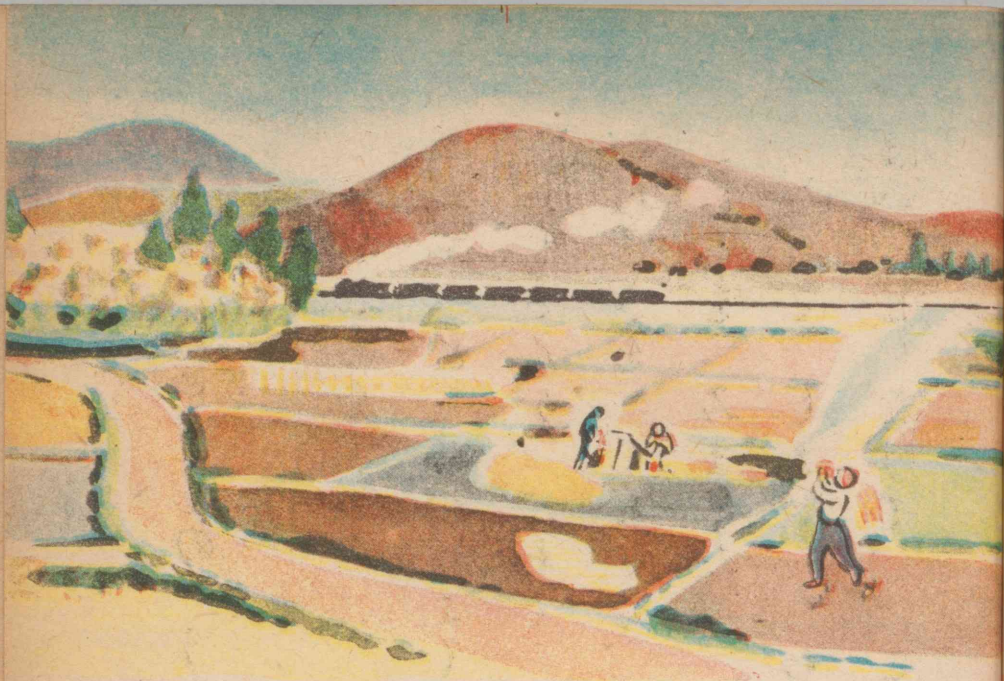
「さようなら。」

「さようならー。」



(二) いねこき

がら、がら、
がら、がら。
あちらの いねこき。
こちらの いねこき。
きいろな いねの たばか、
あちら こちらに、
山のように みます。



どおい もりの
すぐ そばを、
きしゃが はしって いきます。
そらが あおくて、
きれいです。
しろが、いねの山の そばま
で、かけて、いきました。
うれしそうに、
わん、わんわんと ほえました。

(三) おじさんの うち

「おじさあん。」

「おお としおか、よく きたね。」

おじさんが、にわで

いねこきを しながら、

こちらを みました。

こいて しまった わらたばを

ぽいっと なげて、にこにこしました。



おばさんが、

「まあ、まあ。」

と いいながら、うちの 中から、

かけて いらっしやいました。

「よしこさんも いっしよですね。」

とおいのに よく いらっしや

いましたね。」

おばさんも、にこにこがおでし

た。





かきの 木に、
 もずが とんで きて、
 き、き、き、き、きつ、
 と なきました。
 しろが びっくりして、
 わん わんと ほえました。
 もずも びっくりして、
 もりの 中へ、とんで いっ
 て しまいました。

わらやねの そばに、
 まっかな かきが たくさん
 なって いました。
 「おいしそうな かきね。」
 と、よしこが いいました。
 「かえりに、かきも もって
 いくかね。」
 と、おじさんが おっしゃいました。



(四) かわいい おみやげ

「おうい、はるえさあん。」

「はあい。おかえりなさい。」

「いいものをみせてあげようか。」

「なあに。」

「はやく、はやく。はやく おいでよ。」

はるえと しげるが、かけっこを

しながら、はしの 上まで きました。

「ねえ、いいものつて、なんですか。」

「あてて ごらん。」

「かきですか。」

「おいしそうな かきだなあ。」

「もつと いい ものがあるんだよ。」

「はやく みせて くださいよ。」

「いいかい、おじさんの おみやげだよ。」

「そうら……。」

「あら、あら。」

「やあ、かわいい おみやげだなあ。」



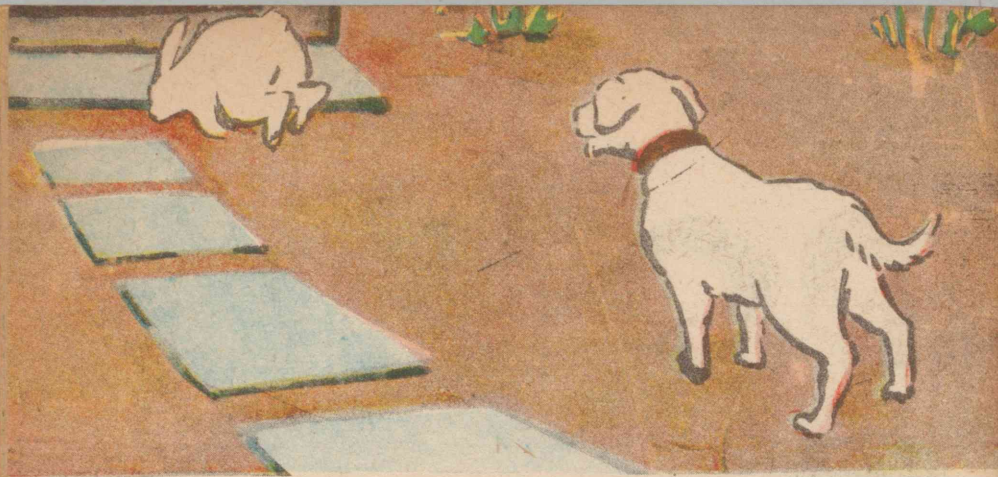
(五) しろと 子うさぎ

としおが、子うさぎのながい
みみをもつて、はこからだして
やりました。子うさぎはよろこんで、
ぴよん ぴよん はねました。

ぴよん ぴよこ、

ぴよん ぴよこ、

うさぎとび。



しろがおこって、

うう、ううと うなりました。

「しろ しろ、きょうから おともだちに
なったんだよ。」

としおが、しろに いいました。

しろは うれしそうに、

わんど ほえました。

子うさぎは、びっくりしました。

そうして、ころころ ころげるように、
うちの中へ はいって しまいました。

よしこが、ようちえんから
かえりました。

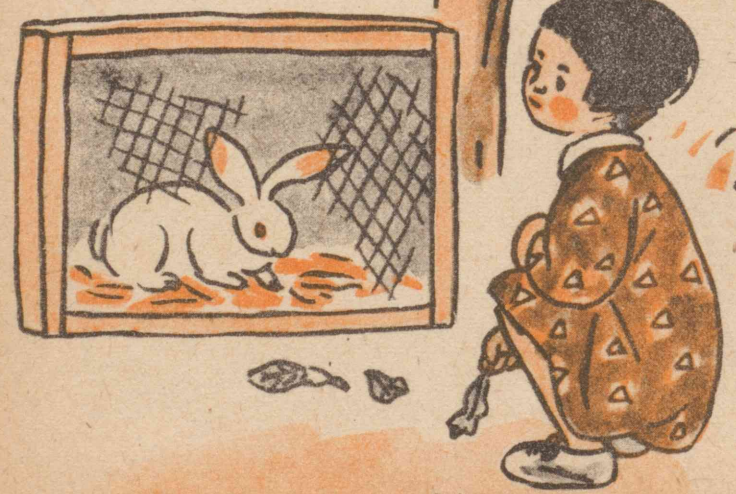
子うさぎに くさを やりました。

もぐ もぐ、もぐ もぐ。

おいしそうに たべます。

あかい きれいな 目で、

よしこを みながら たべて います。



(一) 子うさぎ



三、どうぶつえんごっこ



よしこは、うれしくなりました。
りよう手をふって、うたいだしまし
た。

うさぎ うさぎ、

うさぎの ぴよんこさん。

なに して あそぼ。

もちつき ぺったらこ、

ぺったら ぺったら ぺったらこ。

よしこは、うさぎになつて、ぴよ

ん ぴよん はねました。

子うさぎは びっくりして、

はこの 中で、ぴよん ぴよん はねました。

はこの ふたが あきました。

子うさぎが とびだしました。

「あら、あら あら。」

おかあさん、おかあさん。

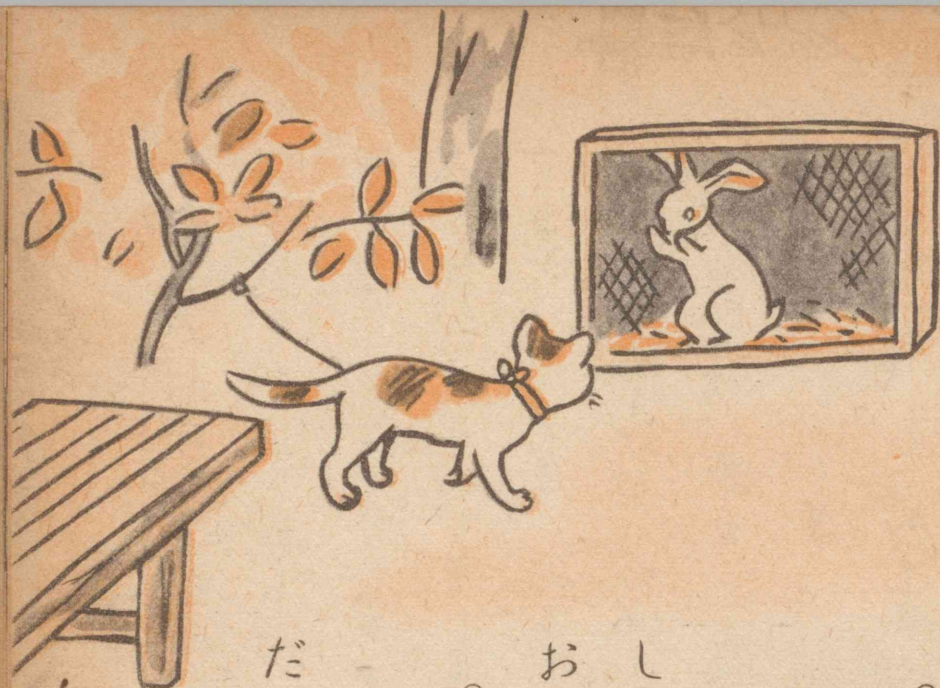
うさぎが にげましたよ。」

おかあさんが でて きました。

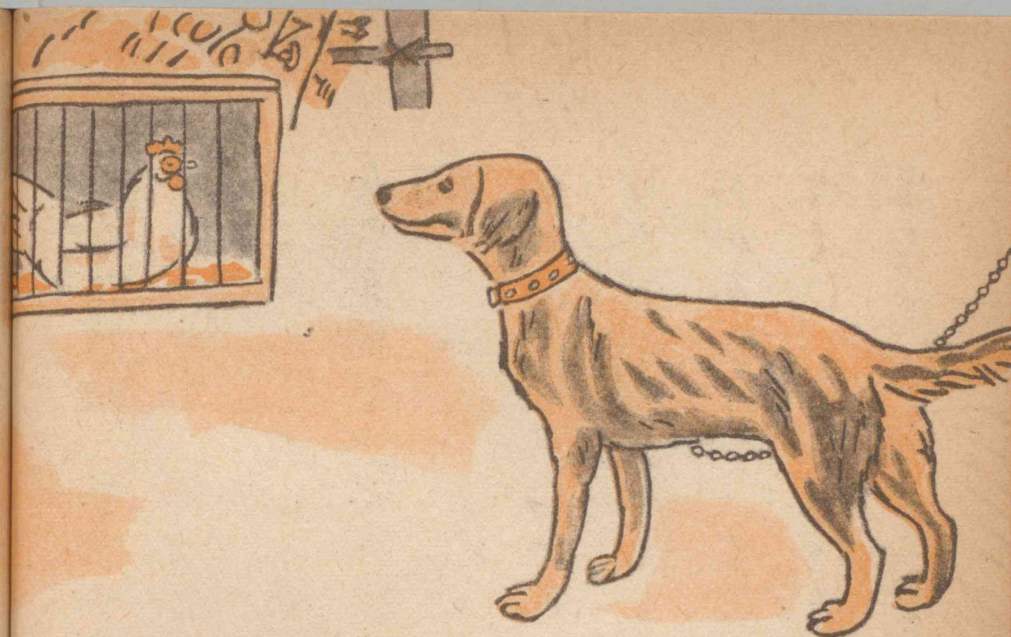
すぐに、子うさぎを つかまえました。

よしこは、にこにこがおに なりました。





○はるえの にわとり
 こっここ、こっここ。
 なっぱを やっても、しらんかお
 している。はこが 小さいから、
 おこつて いるのかな。
 ○としおの みけ
 かわいい かおを して いても、
 だめ、だめ。
 ごらん、ひかった 目で、子うさぎ
 ぎを ねらつて いる。



(二) みんな おいで
 みんな おいで おいで。
 きょうは たのしい
 どうぶつあそび。
 ○しげるの いぬ
 大きいな、大きいな。
 うまの 子かど おもつた。
 目だまが きらりと ひかつてる。

(三) くまの めん

「うおーっ、うおーっ。」

と、どこかで うなりました。

みんなが、びっくりしました。

くまが のそり のそりと でて きました。

くまの めんを つけた みちおでした。

みんなは、手を うって よろこびました。

みちおの くまは 大きな こえで、

「うおーっ、うおーっ。」と うなりました。



(四) あら あら

「きゅうぴいさんでも、いいでしょう。」

けんちゃんが、きゅうぴいを だいて、

うちから でて きました。みんなは、

「あら あら、あら あら。」

と、目を まるく しました。小さい 子だから、いいよ
いいよと、みんなが いいました。けんちゃんは、につこ
りしました。



(五) どうぶつえんごっこ

みんなで どうぶつえんごっこを
する ことになりましした。

としお 「いりぐちは できたよ。」

しげる 「うまく できたね。」

おけいこを しようか。」

としお 「しよう、しよう。」

『いらっしやい、いらっしやい。』



こちらは、

こどもの どうぶつえんで

ございます。

木の はが、おかねです。

さあ さあ、いらっしやい、

いらっしやあい。』

みちお 「こちらは、くまの うちです。

そばへ くと、とびつきますよ。

うおー、うおー。」

みんな 「おもしろい、おもしろい。」

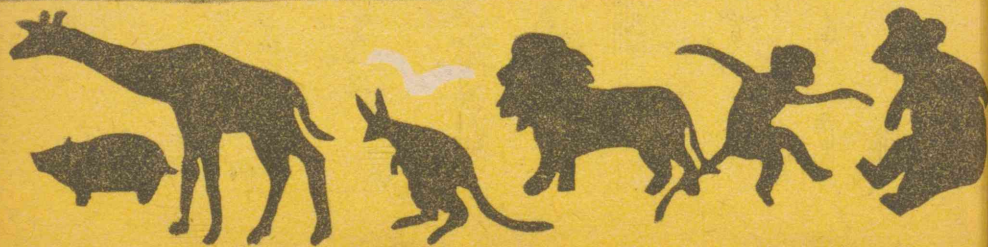


おめでとう



プログラム

- ① はじめのことば
- ② ことばかいのうた
- ③ おどろもちつき
- ④ かみしばいおにごっこ
- ⑤ かんがえしの
- ⑥ なぞなぞ



おつかさん 「きつぷを二まい ください。」
 としお 「はい はい。」
 子うさぎが、はこから だまし
 た。みけが、子うさぎに とび
 つきそうです。
 しげる 「たいへんだ、たいへんだ。」
 はるえ 「子うさぎが、とびだしたよう。」
 みちお 「はやく、みけを つかまえろ。」
 みんな 「おあつ。みけ、みけっ。」

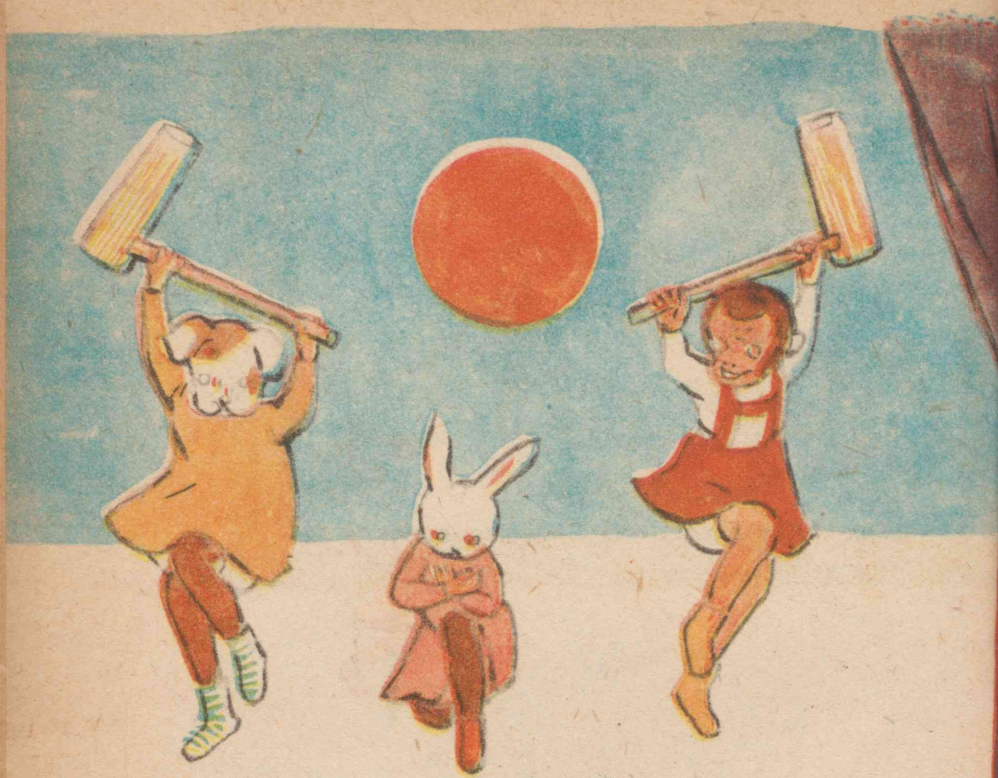


(一) はじめのことば

おとうさん、おかあさん、よく
いらつしゃいました。きょうは
たのしい わたしたちの こども
かいです。おもしろい かみしば
いが あります。なぞなぞも あ
ります。うたも うたいます。お
しまいまで、よく ごらんくださ
い。

(二) こどもかいの うた

一ねんせいは 小さいけれど、
みんな げんきな、よい こども。
一ねんせいは 小さいけれど、
みんな なかよし、よい こども。
にこにこ たのしい こどもかい。
きれいな ことばで うたいます。



いそげよ、いそげよ、
 日がくれる。
 ぺったら ぺったら、
 ぺったらこ。
 もう すぐ しょうがつ、
 うれしいな。



おどりもちつき

(三) もちつき
 うさぎの うちの
 もちつきは、
 ぺったら ぺったら
 ぺったらこ。
 いぬさん、さるさん、
 おてつだい。

かみ
しがい
おにぶっこ



(四) おにぶっこ

①

さると きつねの おにぶっこ。
 じゃんけんぽんよ。いし、か
 み、はさみ。きつねが おにだ。
 さるは にっこり かけだした。
 もう すこしで つかまえる……

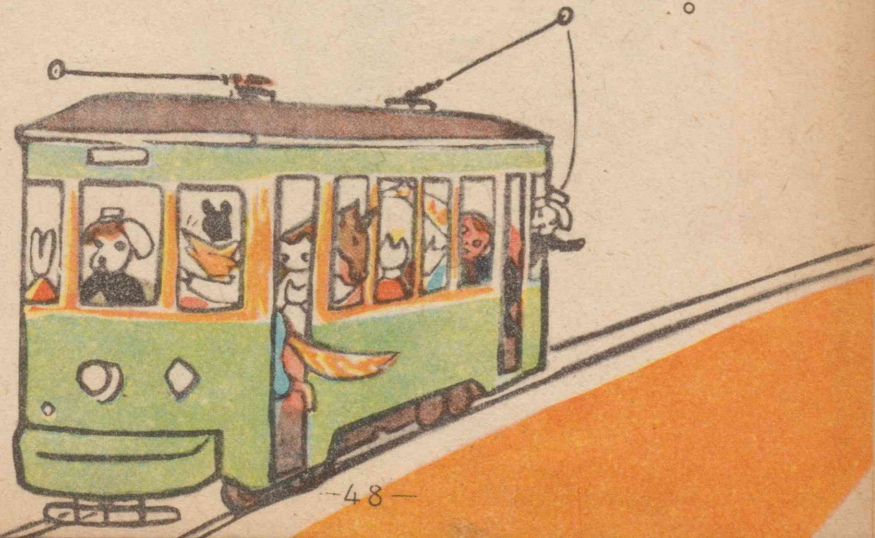
②

とおもったら、
 さるは ぴよんと 木の 上へ。
 「おにさん、こちら。」
 「さるさん、だめだよ、おりといて、
 ぴよんと あちらへ とびおりて、
 さるは むこうへ かけだした。
 きつねは おこって おいかける。
 もう すこしで つかまえる……

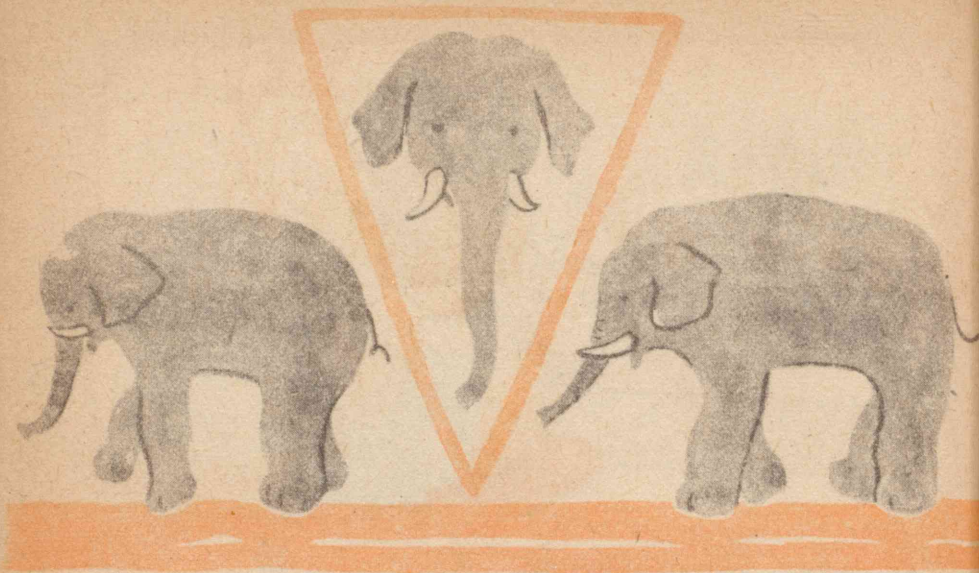




3と おもったら、
 でんしゃだ、でんしゃだ、ありがたい。
 さるは いりぐち、きつねは でぐち
 ぴよんと とびのる、
 でんしゃが はしる。
 でんしゃは まんいん、
 おしては だめよ。
 それ おせ、よいしよと、
 がんばる きつね。
 もう すこしで つかまえる……。



4と おもったら、
 がたんと でんしゃが とまった。
 さるは とびおり、
 いっしょうけんめい
 にげだした。
 きつねは びっくり、
 りよう手を ふって、
 「おうい、おうい。」
 と よんで いる。



一ぴきの ゑうの まえに、
 一ぴきの ゑうが いき、
 二ひきの うしろからも、
 一ぴきの ゑうが いきます。
 さあ、
 みんなで ゑうが なんびき
 いるでしょう。

(五) かんがえもの



5 けれど、
 いぬの しゃしよさん。
 「もし、もし、きつぷを ください。
 わんわん、わん。」
 おいかけ おいかけ
 とびついて、
 どうとう さるを、
 つかまえた。
 (おしまい)



(六) なぞなぞ

目ひとつ、あし 一ぽん、なあに。

あし 三ぼんで、火の そばに いる
もの、なあに。

空から おちて きます。ふゆに あ
る ものです。しろくて きれいです。
なんでしょう。

五、冬の こども

(一) ゆき



ゆきが ふった あさ。

せんせいと いっしょに、

がっこうへ いった。

もりの そばを とおったら、

ゆきだるまが、

こちらを みて、

にこにこして いた。



(二) こおり

こおりを にわに おいたら、
うすく なって、
水が でて きて、
小さく なった。
手に のせたら、
すぐ
水に なって しまった。



(三) おじさんへ

おじさん、おげんきですか。
こちらは、ゆきが ふって いますよ。
おかあさんが かぜを ひいて、ねて
います。きのう、わたしと、ままごことを
して みせて あげました。おかあさんが にっこ
りしました。けんちゃんも げんきです。おばさん
にも おはなしして くださいね。 さようなら



としお



(四) ゆきの よる

しずかな よるです。
 ゆきの よるです。
 よしこと いっしょに つくった、
 大きな ゆきだるまにも、
 ゆきが ふって いるでしょう。
 ときどき 木に つもった ゆきが
 おちる おどが します。
 しずかな よるです。
 ゆきの よるです。

(五) ゆきあそび

あさ ながぐつを はいて、 ゆきの
 上を はしって、 がっこうへ いきま
 した。 ゆきの 上は うまく はしれ
 ませんでした。

みんなで ゆきあそびの おはなし
 を しました。 ゆきあそびの とき、
 せんせいは あかぐみに なりました。
 わたしは、 大きな ゆきの たまを
 いくつも いくつも つくりました。





六、はるが くる

(二) はるが くる

わたしは

ゆきの 上を あるいた。

ゆきの 下を 水が

ながれる おどが する。

お日さまを みた。

まぶしくて、目を あけられない。

「はるが くる。」

わたしは、ひとりで いった。



(一) おしくらあそび

みんな、みんな、

よつといで。

冬の 日なたで、

おしくらあそび。

わっしよい、

わっしよい。

もう すぐ はるだよ、

はるが くる。





(三) はるの ゆきが
はるの ゆきが
ちらちら ふって きた。
けれども、

あたたかい お日さまに ゆきは だん
だん とける。どこへ いくのか、だん
だん なくなる。
とおい 山の ゆきが なくなったら、
わたしは、もう ニねんせいになる。



(四) はる

「はるが きた。
なのはなが さいてる。」
と いった。

よしこが、
なのはなを とって、
「これが はるなの。」と いった。
わたしは、
「はるだよ。」と いった。



(五) うぐいすの子

山の うぐいすの子が、あさ はやく 目を
さまして、

「ほうけ、ほうけ」と なきました。

もう すぐ、はるです。うめも きれいに
さくでしょう。うれしい 二ねんせいに
なるのです。うんと がんばらなくては

と、おもいました。

げんきよく、山を とびだしました。

お日さまが、にこにこして

います。とおい 山の ゆきも、と

けて なくなりました。川の 水の な

がれが、はるを よんで いるようです。

うぐいすの子は、むらに きました。

「ほうけ、ほうけ」と、いっしょうけんめいに なきました。

もう すぐ、「けきよ けきよ」と、なけそうです。

むらから まちに とびました。

としおさんの うちの やねが、きらり きらりと、

ひかって いました。



「としおさん、二ねんせいのできましたか。」

うぐいすの子は、

うめの木にとんできて、



「ほう、ほけきよ。」と、きれいなこえでなきました。

としおさんが、にわにかけだしました。

「やあ、うめの木でないたんだな。よしつ、わたしも

がんばるぞ。もうすぐ、二ねんせいになるんだ。」

「ほう、ほけきよ。」

うぐいすの子は、よろこんで山へかえりました。

おけいこ

一、うんどうかい

(一) うんどうかいのゆめ

ゆめの おはなしを しましょう。

(二) うさぎとび

(1) ふしを つけて、うたいましょう。

(2) ころんだ うさぎを、どう おもいますか。

(三) だるまおし

(1) じょうずに よみましょう。

(2) だるまの えを かきましょう。

(四) かけっこ

えの おはなしを しましょう。

(五) おもしろかった

(1) おとうさんに なにを はなしましたか。

(2) しろが なぜかわいくなりましたか。

(六) えにつき

えにつきの なかの、えの ことばを
かんがえましょう。

二、おじさんのうち

(一) はしの 上から

やくわりを きめて よみましょう。

(二) いねこき

(1) がら、がらは なんの おとですか。

(2) しろは、どう しましたか。

(三) おじさんのうち

□の中へ、じを、いれましょう。

1. いい□□□ 2. にこにこ□□

3. かえり□ かき□ もって □□□ね。

(四) かわいい おみやげ

(1) やくわりを きめて おはなしあいをして しましょう。

(2) かわいい おみやげは なんてしたか。

(五) しろと 子うさぎ

子うさぎは なぜ にげだしたのですか。

三、どうぶつえんごっこ

(一) 子うさぎ

(1) うさぎの うたを、ふしを つけて
うたいましょう。

(2) だれが 子うさぎを つかまえましたか。

(二) みんな おいで

あなたも、なにか かいて みましょう。

(三) くまの めん

この おはなしで、どこが おもしろい
いと おもいましたか。

(四) あら あら

みんなは なぜ、あら あら と、い
ったのでしよう。

(五) どうぶつえんごっこ

やくわりを きめて、おしばいを し
ましょう。

四、こどもかい

(一) はじめの ことば

あなたも、おはなしの しかたを か
んがえて みましょう。

(二)

こどもかいの うた
ふしを つけて うたいましょう。

(三) もちつき

(1) ふしを つけて うたいましょう。

(2) おどりがたを かんがえて みましょう。

(四) おにごっこ

(1) みんなで かみしばいを つくつて あ
そびましょう。

(2) どこが おもしろいとおもいましたか。

(3) さるを つかまえたのは、だれですか。

(五) かんがえもの

(1) えを かいて かんがえましょう。

(2) かんがえものを つくりましょう

(六) なぞなぞ

(1) おともだちを よんで、みんなで かん
がえましょう。

(2) して いる なぞを かきましょう。

五、冬の こども

(一) ゆき

(1) にこにこして いたと いうのは、ほん
とですか。

(2) あなたも、ゆきの しを かきましよう。

(二) こおり

どうして、手に のせると すぐに ど
けるのでしよう。

(三) おじさんへ

あなたも、てがみを かきましよう。

(四) ゆきの よる

この しは、どこが すきですか。

(五) ゆきあそび

あなたの すきな ところを ちようめ
んに かきましよう。

六、はるが くる

(一) おしくらあそび

みんなで、おしくらあそびを しましよ
う。

(二) はるが くる

どんな こころもちで この しを か

いたのでしよう。

(三) はるの ゆき

ゆきは どこへ いくのでしようか。

(四) はる

この しは、どこが すきですか。

(五) うぐいすの子

(1) うぐいすの子は、山では どんな
なきかたを しましたか。

(2) なぜ、山を とびだしたのでしようか。

(3) どこで、じょうずに なきましたか。

(4) とおさんの いった ことばを、ち
ようめに かきましよう。

(5) おともだちに この おはなしを し
て あげましよう。

ままごと	55	やり(ました)	15
まぶしく(て)	59	ゆき	53
まち	63	ゆきがっせん	57
みみ	28	よいしょ	9
みちお	36	ようい	10
むこう	47	ような	12
目	31	ように	29
目だま	34	ようちえん	31
めん	36	よんで	49
もう	7	よる	56
もの	26	よっ(といて)	58
もぐ	31	りょうて	13
もちつき	32	わっしょい	9
もし(もし)	50	わっ	10

かんじ

上(18) 山(20) 中(23) 木(25) 子(28) 目(31) 手(32) 大(34)

小(35) 日(45) 空(52) 火(52) 冬(53) 水(54) 川(63)

ん わ ら や ま は な た さ か あ
 り い み ひ に ち し き い
 う る ゆ む ふ ぬ つ す く う
 れ え め へ ね て せ け え
 を ろ よ も ほ の と そ こ お

ぱ ば だ ぎ が
 び び ぢ じ ぎ
 ぶ ぶ づ ず ぐ
 ぺ べ で ぜ げ
 ぽ ぽ ど ぞ ご

ぴ び ぢ じ ぎ り み ひ に ち し き
 や や や や や や や や や や や
 ぴ び ぢ じ ぎ り み ひ に ち し き
 ゆ ゆ ゆ ゆ ゆ ゆ ゆ ゆ ゆ ゆ ゆ
 ぴ び ぢ じ ぎ り み ひ に ち し き
 よ よ よ よ よ よ よ よ よ よ よ

かき	24
かみしばい	42
かたん(と)	49
かんがえもの	51
き(きき)	25
木	25
き(ました)	26
きらり	34
きゅうびいさん	37
きっぷ	40
きつね	46
くる(くる)	13
くれる	45
けれど	43
けきよ	63
ごろ	12
こと	15
こ(うさぎ)	16
こ(こ、こ)	35
こ(ども)	37
こどもかい	41
こおり	54
こえ	64
さあ	39
さる	44

さい(てる)	61
さます(めを)	62
しまい(ました)	25
しょうがつ	45
しゃしょう	50
しずかな	56
したく	64
すぐ	7
それ	9
そうか	19
そば	21
そうして	29
(がんばん)ぞ	64
だるま	8
だめ	19
たば	20
たくさん	24
(うたい)だし(ました)	32
だいて	37
たいへん	40
たま(を)	57
だん(だん)	60
ちらちら	60

つかまえ(ました)	33
つけて	36
つく(った)	56
できた	38
でぐち	48
とび	6
どん	10
どおい	21
どうぶつえんごっこ	30
ときどき	56
なに	18
なげて	22
なぞ(なぞ)	42
なかよし	43
ながぐつ	57
なき(ました)	62
にわ	22
にわとり	35
(二)まい	40
にげる	33
ねえ	27
ねらって	35
ねて	55

はた	7
はね(ました)	28
はこ	28
はじめ(ます)	42
はく(くつを)	57
はる	58
びよこ	6
びよこり	7
ひかっ(てる)	34
日	45
火	52
ひいて	55
日なた	58
ひとり(て)	59
ふた	33
ふゆ	52
ふった	53
べったら	32
ぼいっと	22
(一)ぼん	52
ほうけ	62
まあ	23
まっか	24
まるく	37
まえ	51

Copyright 1950, by
The Nihon Shinkyōiku Kenkyukai

All rights reserved
The text of this publication or any part thereof
may not be reproduced in any manner whatsoever
without permission in writing from the authors.

小国 115

Approved by Ministry of Education
(Date Jul. 8, 1949)

<p>原作者 「おにごっこ」………濱田廣介 「うぐいすの子」………奈街三郎</p>	<p>表紙とさしえ 東洋英和女学院小学校教諭 齋藤三彰 同 中尾長三 学習院初等科教諭 石澤芳子 成蹊学園小学校教諭 松山勝造 成蹊学園小学校教諭 杉山榮茂 成蹊学園小学校教諭 佐藤萬三 盈進学園小学校主事 中村萬三 成蹊学園小学校教諭 馬場正道 成蹊学園小学校主事 滑川男夫</p>	<p>担当執筆者 照井猪一郎 濱野重郎 理 長 編 集 長</p>	<p>編者 東京大田区雪ヶ谷町 清明学園初等学校内 財団法人日本新教育研究会</p>
---	--	---	--

<p>発行者 財団法人日本新教育研究会 会長 高橋誠一郎</p>	<p>発行者 学校図書株式会社 代表者 川口芳太郎</p>	<p>印刷者 東京都港区芝三田豊岡町八番地 代表者 川口芳太郎</p>	<p>発行所 東京都港区芝三田豊岡町八番地 学校図書株式会社</p>
--	---------------------------------------	---	--

昭和二十四年七月八日印刷
昭和二十四年七月十二日発行

定価 一 円 銭

(本書の指導書・ワークブック・註釋書並びに、これに類する一切のものを無断發行を禁ずる。)

あたらしく できた ことば

あげよう	16	うぐいす	62
あそび	57		
あてて	27	えにっき	15
あら	27		
あく(き)	33	おきた	7
ありがたい	48	おし	8
あし	52	おこった	12
あさ	53	おっしゃい(ました)	16
あたたかい	60	おお	22
		おばさん	23
		おいしそうな	24
いっしょ	14	おみやげ	26
いなご	18	おけいこ	38
いねこき	20	おかね	39
いりぐち	38	おちる	56
いねんせい	43	おてつだい	44
いそげ(よ)	45	おにごっこ	46
いくつも	57	おもったら	47
いっしょけんめい	14	おいかける	47
一どう	11	おしくら	58
うんどうかい	4	かて	6
うじ	29	かお	8
うなる(り)	29	かけっこ	10
うって	36	がんばれ	10
うしろ	51	かわいい	14
うすく	54	がら	20
うめ	62		

広島大学図書

広島大学図書

0130449926

